三原市農業委員会第4回定例総会議事録

1. 開会日時・場所

日時 令和7年4月25日(金) 午後2時00分
場所 三原リージョンプラザ南館2階 第2研修室

2. 委員の出席状況

出席委員 農業委員18名 議席番号・氏名 次のとおり

1番	新庄 實雄	2番	花山 哲男	3番	—
4番	林 壽彦	5番	竹廣 愛	6番	信藤 延夫
7番	平木 時治	8番	武郷 勝巳	9番	生駒 健人
10番	山本 明雄	11番	山口 郁恵	12番	阪井 瑞枝
14番	—	14番	郷谷 幸男	15番	山口 龍子
16番	河村 博	17番	佐々木 豊彦	18番	井長 哲
19番	兼光 一美				

欠席委員

3番	久留本 忠美	—番	—	—番	—
----	--------	----	---	----	---

農地利用最適化推進委員の出席状況 議席番号・氏名 次のとおり

20番	—	21番	東 久喜	22番	宮崎 幸男
23番	池原 幸伸	24番	寶田 清隆	25番	福竹 順二
26番	河本 吉重	27番	宮岡 恒輔	28番	岡田 利文
29番	佐々木 昭和	30番	—	31番	—
32番	貞元 義巳	33番	戸野 勉	34番	高下 義彦
35番	廉 賢治	36番	宮本 洋子	37番	松廣 真治
38番	向井 浩司				

欠席委員

20番	為清 敏治	30番	吉国 幹夫	31番	大崎 恒生
-----	-------	-----	-------	-----	-------

3. 議事録署名人

6番	信藤 延夫	14番	郷谷 幸男
----	-------	-----	-------

4. 議事説明員・職・氏名

事務局長 岡 泰彦 係長 山崎 雅樹 主任 長里 奉慶 主任 関友 健介

5. 審議事項

第18号議案	農地法第3条の規定による許可申請について
第19号議案	農地法第4条の規定による許可申請について
第20号議案	農地法転用許可後の事業計画変更承認申請について
第21号議案	農地法第5条の規定による許可申請について
第22号議案	農地法第5条の規定による許可条件の履行延期承認申請について
第23号議案	非農地証明申請について
第24号議案	三原市農地転用に伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドラインの制定について

6. 報告協議事項

1. 農地法関係諸証明事務等について
2. その他

7. 議事の内容

開会 午後2時00分

—議長開会挨拶—

議長 本日の出席委員は18名中、17名で定足数に達しておりますので、第4回総会は成立しております。なお、3番 久留本委員から欠席する旨、通告がありましたので報告いたします。

会議規則第16条の規定により、議長において議事録署名者に、6番 信藤委員、14番 郷谷委員を指名します。

議長 議事日程は、日程第1を第18号議案とし、逐次、議案番号の順序によるものとします。
議事進行上、発言をされる委員は挙手のうえ、議席番号、氏名、議案件数を告げ、議長の許可を受けて発言をお願いします。
これより議案審議に入ります。

議長 日程第1 第18号議案を上程します。
農地法第3条の規定による許可申請について、第34件から第51件を審議します。
事務局の説明を求めます。

事務局 議案書1ページをご覧ください。
説明に先立ち、議案の訂正がありますので説明します。
議案書2ページの第39件について、申請者から、譲渡人のうち〇〇が許可申請後に死亡したため、譲渡人の相続関係が確定した後に、あらためて許可申請を行うとして、当該申請をいったん取下げるとの申出がありました。つきましては、議案から削除をお願いします。
それでは説明します。

第34件は、〇〇から福岡県福岡市の〇〇が、糸崎5丁目〇〇 ほか2筆 地目：畑 合計151㎡について、隣接地の住宅に移住予定であり、併せて農地を譲り受け、新規就農するものです。

第35件は、〇〇から木原6丁目の〇〇が、木原町〇〇 ほか3筆 地目：田2筆、畑2筆 合計795㎡を、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第36件は、〇〇から、宗郷5丁目の農事組合法人〇〇が、長谷3丁目〇〇 ほか1筆 地目：田 合計875㎡について、相手方の要望を受け、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第37件は、〇〇から八幡町垣内の〇〇が、八幡町垣内〇〇 ほか1筆 地目：田 合計4,666㎡を、現在も耕作しており、譲り受けて引き続き耕作するものです。

第38件は、〇〇から、宗郷5丁目の農事組合法人〇〇が、沼田東町納所〇〇 地目：田 743㎡について、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第40件は、〇〇から、和田1丁目の〇〇が、沼田東町末広〇〇 ほか2筆 地目：田 合計6,599㎡について、農地を譲り受けて新規就農するものです。

第41件は、〇〇から東京都西東京市の〇〇が、沼田西町松江〇〇 ほか1筆 地目：畑 合計462㎡について、実家や所有農地に隣接しており、相手方の要望を受け、譲り受けるものです。

第42件は、〇〇から幸崎渡瀬の〇〇が、幸崎渡瀬〇〇 地目：畑 396㎡について、居住地から近く、耕作に便利のため譲り受け、新規就農するものです。

第43件は、〇〇から中之町南の〇〇が、鷺浦町向田野浦〇〇 ほか3筆 地目：畑 合計938㎡について、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第44件は、〇〇から明神3丁目の〇〇が、南方3丁目〇〇 地目：田 1,176㎡について、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第45件は、〇〇から久井町和草の〇〇が、久井町和草〇〇 地目：畑 55㎡について、居住地から近く、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第46件は、〇〇から久井町羽倉の〇〇が、久井町羽倉〇〇 ほか3筆 地目：田 合計6,687㎡について、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

なお、当該申請地は令和7年2月総会において、別の者を譲受人とする農地法第3条許可の決定を行ったものの、譲受人を変更したいという願出があったため、令和7年3月28日付けで当該許可の取消を受理しており、本日の報告事項に掲載をしています。

第47件は、〇〇氏から大和町の〇〇が、大和町下徳良〇〇 ほか2筆 地目：田1筆、畑2筆 合計1,631㎡について、居住地から近く、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第48件と第49件は、譲受人が同一のため合わせて説明します。

譲受人は大和町下徳良の〇〇で、

第48件は、〇〇から、大和町下徳良〇〇 地目：田 1,489㎡について、

第49件は、〇〇から、大和町下徳良〇〇 地目：田 1,441㎡について、

現在も耕作しており、譲り受けて引き続き耕作するものです。

第50件は、〇〇から大和町下徳良の〇〇が、大和町下徳良〇〇 地目：田 1,640㎡につ

いて、居住地から近く、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

第 51 件は、〇〇から世羅町の〇〇が、大和町上草井〇〇 地目：畑 409 m²について、親族の居住地から近く、農業経営規模拡大のため譲り受けるものです。

なお、譲受人は、現在三原市に経営地はありませんが、世羅町に親族の経営地があり、農業関係法人に勤務しながら認定農業者として農業に従事しており、今後は三原市内においても上草井地区で経営規模を拡大していく意向です。

以上、申請案件は全て農地法第 3 条の許可要件を満たしています。

農地法第 3 条の許可申請についての説明は以上です。

議 長

事務局の説明が終わりました。

委員の調査報告は、現地確認書の提出によるものとしますが、調査を担当した委員から補足説明があれば、挙手の上、発言してください。

19 番

第 40 件について、譲渡人と譲受人は親子です。譲受人理由は新規就農するとなっているが、生前贈与を受け新規就農するのだと思います。

事務局

委員補足説明のとおり、当該案件は親から子へ農地を譲り渡すもので、子に新規就農する意向があり、生前贈与により親から子へ農地の所有権を移転し、以後は子が主となり営農することを確認しています。

議 長

他に補足説明はありませんか。

10 番

第 41 件について、譲受人が東京都在住なので、譲渡人、申請地の近隣在住者及び現地確認には立会できませんでしたが、譲受人の 3 者へ当該案件について確認しました。結果として、譲受人は、2 ヶ月に 1、2 回、東京から三原市に帰り、現在所有する申請地隣接の畑の草刈りを行っているとのことであり、そのことについて 3 者に確認しましたが間違いなく、また私達が現地確認した結果においても、その状況を確認しました。よって当該農地法第 3 条の規定による農地取得については、今後農地として維持管理されるとして、譲受人は東京都在住ですが、特段の問題は無いと考えます。

議 長

他に補足説明はありませんか。

・・・挙手なし・・・

議 長

他に補足説明等ないようなので、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

・・・「質疑なし」の声あり・・・

議 長

質疑なしと認めます。これより、採決に入ります。

農地法第 3 条の規定による許可申請、第 39 件を除く、第 34 件から第 51 件の本案は、原案のとおり許可決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議 長

全員挙手であります。

よって、農地法第 3 条の規定による許可申請については、全て原案のとおり許可決定することに決しました。

議 長

次に、日程第 2 第 19 号議案を上程します。

農地法第 4 条の規定による許可申請について、第 4 件から第 8 件を審議します。

議 長

事務局の説明を求めます。

事務局

議案書 6 ページをお開きください。第 19 号議案 農地法第 4 条の規定による許可申請について説明します。

第 4 件は、〇〇が、須波 2 丁目〇〇 地目：畑 3.3 m²について、駐車場に転用するもので、内容は、駐車場 1 区画です。当該案件は、転用の許可を得ることなく、申請地を駐車場に転用していることから、始末書を求め提出されています。

第 5 件は、〇〇が、沼田東町納所〇〇の一部 地目：畑 485 m²のうち 5 m²について、墓地

に転用するもので、内容は、墓石2基、法名碑1基です。

第6件は、〇〇が、幸崎能地3丁目〇〇 地目:田 142㎡について、貸駐車場に転用するもので、内容は、駐車場7区画です。

第7件は、〇〇が、幸崎能地3丁目〇〇外3筆 地目:田及び畑 合計1,000㎡について、貸駐車場に転用するもので、内容は、駐車場22区画です。当該案件は、転用の許可を得ることなく、申請地を貸駐車場に転用していることから、始末書を求め提出されています。

第8件は、〇〇が、本郷町本郷〇〇 地目:田 516㎡(東本通土地区画整理事業区域内:仮換地〇〇街区〇〇-〇〇 367.14㎡)について、宅地に転用するもので、内容は、住宅1棟、駐車場2区画です。当該案件は、転用の許可を得ることなく、申請地を宅地に転用していることから、始末書を求め提出されています。

申請地の農地区分は、第5件が第2種農地で、その他の案件は第3種農地です。

許可基準は、第5件が農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地で、農地法第4条第6項第2号「申請に係る農地等に代えて周辺の他の土地では事業の目的を達成することが出来ない」と認められること」に該当します。

その他の案件は、農地法第4条第6項第1号ロ(1)「市街地の区域又は市街化の傾向が著しい区域内にある農地は許可する」に該当します

農地法第4条の規定による許可申請についての説明は以上です。

議長

事務局の説明が終わりました。

委員の調査報告は、現地確認書の提出によるものとしますが、調査を担当した委員から補足説明があれば、挙手の上、発言してください。

・・・挙手なし・・・

議長

補足説明等ないようなので、これより質疑に入ります。質疑はありますか。

19番

第7件について、既に貸駐車場に転用しており、始末書を添付して許可申請し、追認を求めている案件ですが、既に駐車場24区画として使用しており、貸し出して営業をしているのでしょうか。

事務局

事務局員が現地確認した際に、申請地が既に造成され、ロープで区画割りされていることを確認しましたが、車は置かれていませんでした。申請人へ状況を聞き取りし、ロープは張っているが、貸駐車場として営業はしていないことを確認しています。

議長

他に質疑はありますか。

・・・「質疑なし」の声あり・・・

議長

他に質疑がないようなので、これより、採決に入ります。

農地法第4条の規定による許可申請、第4件から第8件の本案は、原案のとおり許可決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議長

挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり許可決定をすることに決しました。

議長

次に、日程第3 第20号議案を上程します。

農地転用許可後の事業計画変更承認申請について、第2件を審議します。

事務局の説明を求めます。

事務局

議案書7ページをお開きください。第20号議案 転用許可後の事業計画変更承認申請について説明します。

第2件は、高坂町真良〇〇 地目:田 1,666㎡について、当初計画では、3年以内の利用を計画して、許可後3年間の農地法第5条の一時転用許可を受けましたが、想定以上の再生砕石の製造販売をすることとなったため、一時転用期間満了後も事業を行う必要が生じたことから、恒久的に利用するため、事業計画を変更し、改めて農地転用許可申請を行うものです。

事業計画変更後の農地転用については、この後、第21号議案 農地法第5条の規定による

許可申請第 31 件においてご審議いただきます。

転用許可後の事業計画変更承認申請についての説明は以上です。

議 長 事務局の説明が終わりました。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

・・・「質疑なし」の声あり・・・

議 長 質疑なしと認めます。これより、採決に入ります。
農地転用許可後の事業計画変更承認申請について、第 2 件の本案は、原案のとおり許可決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議 長 挙手全員であります。
よって、本案は原案のとおり許可決定をすることに決しました。

議 長 次に、日程第 4 第 21 号議案を上程します。
農地法第 5 条の規定による許可申請について、第 31 件から第 36 件を審議します。
事務局の説明を求めます。

事務局 議案書 8 ページをご覧ください。第 21 号議案 農地法第 5 条の規定による許可申請について説明します。

第 31 件は、先ほど第 20 号議案において事業計画の変更をご審議いただいた案件です。〇〇から、株式会社〇〇が、高坂町真良〇〇 地目：田 1,666 m²について、賃借権の設定により、資材置場に転用するもので、内容は、砕石等 2,100 m³です。

第 32 件は、〇〇から、有限会社〇〇が、幸崎能地 7 丁目〇〇 地目：畑 52 m²について、所有権の移転を受け、庭敷に転用するものです。

第 33 件は、〇〇から、〇〇が、本郷町本郷〇〇 地目：畑 142 m²、併用地、原野 1 筆 169 m²、合計 311 m²(東本通土地区画整理事業区域内仮換地〇〇街区〇〇 187.87 m²)について、所有権の移転を受け、宅地に転用するもので、内容は、住宅 1 棟、駐車場 2 区画です。

第 34 件と第 35 件は、譲受人が〇〇合同会社で所有権の移転を受け、太陽光発電事業に転用する案件であるため、合わせて説明します。

第 34 件は、譲渡人〇〇、本郷北 1 丁目〇〇 地目：田 916 m²について、太陽光パネル 168 枚、5 棟、発電量 49.5kW 規模を設置するものです。

第 35 件は、譲渡人〇〇、本郷北 3 丁目〇〇 地目：田 1,213 m²について、太陽光パネル 192 枚、5 棟、発電量 49.5kW 規模を設置するものです。

第 36 件は、〇〇、〇〇及び〇〇から、株式会社〇〇が、本郷町上北方〇〇 地目：田 1,716 m²について、所有権の移転を受け、太陽光発電事業に転用するもので、内容は、太陽光パネル 180 枚、4 棟、発電量 49.5kW 規模です。

最後に、各件の農地区分と許可基準についてお示しいたします。

農地区分については、第 33 件は第 3 種農地で、その他の案件は第 2 種農地です。

許可基準については、第 33 件は、農地法第 5 条第 2 項第 1 号ロ(1)「市街地の区域又は市街化の傾向が著しい区域内にある農地は許可する」に該当します。その他の案件は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地で、農地法第 5 条第 2 項第 2 号「申請に係る農地等に代えて周辺の他の土地では事業の目的を達成することが出来ないと認められること」に該当します。

農地法第 5 条に係る許可申請についての説明は以上です。

議 長 事務局の説明が終わりました。
委員の調査報告は、現地確認書の提出によるものとしますが、調査を担当した委員から補足説明があれば、挙手の上、発言してください。

・・・挙手なし・・・

議 長 補足説明等ないようなので、これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

19 番 第 31 件について、令和 4 年 3 月 25 日に受けた、許可後 3 年間である令和 7 年 3 月までの事業期間を既に過ぎているので、この度農地法第 5 条の規定による許可を受けるまでの約 1 ヶ

月間は、許可を受けずに転用している状況なのか。もしそういう状況であれば、始末書は求めないのか。

事務局 委員仰せの通り、当初の一時転用許可期間が令和7年3月で満期となるため、当該案件は、令和7年3月定例総会で審議すべきでした。しかし、申請人から事務局への相談が、3月許可申請締切日以降にあったため、令和7年3月定例総会に議案として上程できませんでした。また、当該案件の相談を受けた後、事務局による現地確認を行い、対応方針の決定などをするまでに時間を要したため、やむを得ず今回令和7年4月定例総会に議案を上程したものです。なお、経緯については顛末書を求めて確認をしています。

議長 他に質疑はありませんか。

・・・「質疑なし」の声あり・・・

議長 他に質疑がないようなので、これより、採決に入ります。
農地法第5条の規定による許可申請、第31件から第36件の本案は、原案のとおり許可決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議長 全員挙手であります。
よって、本案は原案のとおり許可決定をすることに決しました。

議長 次に、日程第5 第22号議案を上程します。
農地法第5条の規定による許可条件の履行延期承認申請について、第1件から第2件を審議します。
事務局の説明を求めます。

事務局 議案書9ページをお開きください。第22号議案 農地法第5条の規定による許可条件の履行延期承認申請について説明します。
第1件と第2件は共に、株式会社〇〇から申請のあった、太陽光発電施設への転用許可に係る履行延期申請です。
第1件は、令和6年1月25日付けで転用許可を受けた、沼田西町小原〇〇ほか3筆 地目：畑 合計927㎡について、
第2件は、令和6年2月22日付けで転用許可を受けた、中之町7丁目〇〇 地目：田 954㎡について、
共に発電設備等の納品の遅れにより、以前から建設中の他案件の工事日程が大幅に遅延した影響を受け、当該案件の工期を延期せざるを得なくなったため、履行延期承認申請を提出されたものです。
申請期間は、令和8年5月31日までです。
農地法第5条の規定による許可条件の履行延期承認申請についての説明は以上です。

議長 事務局の説明が終わりました。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

・・・挙手なし・・・

議長 質疑なしと認めます。これより、採決に入ります。
農地法第5条の規定による許可条件の履行延期承認申請について、第1件から第2件の本案は、原案のとおり許可決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議長 挙手全員であります。
よって、本案は原案のとおり許可決定をすることに決しました。

議長 次に、日程第6 第23号議案を上程します。
非農地証明申請について、第13件から第16件を審議します。
事務局の説明を求めます。

事務局 議案書10ページをご覧ください。第23号議案 非農地証明申請について説明します。

説明に先だち、議案の訂正が2箇所ございます。

第15件及び第16件について、申請者の住所を誤って表記しております。正しくは「沼田東町末光」ですので、議案の訂正をお願いします。

それでは説明いたします。

第13件は、〇〇から、幸崎能地3丁目〇〇 外1筆 地目：田 合計29.3㎡について、昭和60年頃から耕作放棄し、現況原野として、申請されています。

第14件は、〇〇から、幸崎能地7丁目〇〇 地目：畑 191㎡について、昭和49年に住宅を建築して以降、宅地として利用しており、現況宅地として、申請されています。

第15件と第16件は、申請者が〇〇で同一のため、併せて説明いたします。

第15件は、大和町上徳良〇〇 地目：畑 459㎡について、土地の一部へ昭和50年に集会所、平成6年に倉庫を建築して以降、宅地として利用しており、その他の部分は平成20年頃から耕作放棄し、原野になっていることから、現況宅地及び原野として、

第16件は、大和町下徳良〇〇 地目：畑 555㎡について、昭和50年頃から耕作放棄し、現況原野として、申請されています。

申請地の農地区分は、第13件が第3種農地で、その他は全て第2種農地です。

非農地証明申請についての説明は以上です。

議長

事務局の説明が終わりました。

委員の調査報告は、現地確認書の提出によるものとしますが、調査を担当した委員から補足説明があれば、挙手の上、発言してください。

・・・「なし」の声あり・・・

議長

補足説明等ないようなので、これより質疑に入ります。質疑はありますか。

・・・「質疑なし」の声あり・・・

議長

質疑なしと認めます。これより、採決に入ります。

非農地証明申請、第13件から第16件の本案は、原案のとおり承認決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議長

全員挙手であります。

よって、本案は原案のとおり承認決定することに決しました。

議長

次に、日程第7 第24号議案を上程します。

三原市農地転用に伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドラインの制定について審議します。

事務局の説明を求めます。

事務局

議案書11ページと資料24をご覧ください。

第24号議案「三原市農地転用に伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドライン」の制定について説明いたします。

本ガイドラインは、農地転用を伴う太陽光発電設備を設置する場合において、転用を行う事業者から、隣接農地所有者、その耕作者、隣接地居住者及び隣接場所水利関係者への事業内容等の説明を確実に行わせることにより、周辺地域と調和のとれた事業とするために制定するものです。

ガイドラインの作成にあたっては、先般の令和6年12月総会において、委員の皆様へ素案をお示しして意見募集をした後、寄せられた意見をもとに再検討を行い、必要な修正を経て、資料24の1ページから4ページのとおり案を作成し、本日、議案として上程させていただきました。

主な内容は、議案書11ページの「主な内容」1から4のとおりです。

まず第1に、事業者は、隣接農地所有者等に対して事業内容、フェンスの設置、雨水処理、除草作業等の方法や周囲の環境への影響が無いこと等の十分な説明を行うこととしております。

第2に、事業者は、周辺の農業用水路や農道等の関係者に協力して環境美化に努め、事業を終了する場合は、自らの責任で速やかに設備を撤去することとしております。

第3に、事業者は、許可申請に先立ち、発電設備の設置に係る誓約書を提出するとともに、

申請時には発電設備の設置に係る同意書を申請書に添付することとしております。

最後に、事業者は、地元自治組織から合意等を示す文書作成の要望があった場合は、協定書等を作成・締結するよう努めることとしております。

なお、ガイドラインの素案について寄せられた意見内容と対応については、資料24の5ページに記載しておりますので、ご参照ください。

また、水利組合等についていただいた意見は、資料24の6ページのとおりであり、参考となる情報を多数いただき、ありがとうございました。

なお、整理番号5番の意見において、様式第2号の「隣接農地所有者等」に記載する同意者のうち「設置場所水利関係者」を2段にしてほしいとの要望がありましたので、そのように修正しております。

本議案について同意をいただきましたら、本日付でガイドラインを制定し、約3ヶ月の周知期間を経て、本年8月1日から施行する予定です。

ガイドラインの制定についての説明は以上です。

議長

事務局の説明が終わりました。
これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

10番

様式第2号 太陽光発電設備の設置に係る同意書について、隣接農地所有者等の同意者、設置場所水利関係者の氏名欄に水利組合代表と記載があるが、設置場所水利関係者は水利組合でないといけないのか、水利組合代表の同意が必須なのか。

事務局

設置場所の地域に水利組合が有る場合は水利組合の同意を得て、代表者に署名していただき、水利組合がない地域は、設置場所地域の水利関係者に同意を得て、署名していただきます。

10番

水利組合代表と記載されている上の氏名欄に署名をするということなのか。

事務局

水利組合代表の文字に線を引くなどで訂正し、その下に水利関係者の署名をしていただきます。

8番

この三原市農地転用に伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドラインは、あくまで要請ですよね、以前に太陽光発電設備の設置に関する条例の制定という話が有ったと思うのだが、条例は制定しないのか。

会長

条例の制定まで出来れば良いなと思い、議員等へ考えを聞いたが、今の段階で条例の制定は難しいのではないかとのことだったので、農業委員会は、まず三原市農地転用に伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドラインを制定しようと進めているところです。ガイドラインの制定後に、苦情やトラブルの状況が悪くなるようであれば、条例の制定についての働きかけも必要かと考えています。

事務局

市の環境部局は、市議会議員からの、トラブルを防ぐために太陽光発電設備の設置に関する条例制定が必要ではないかの質問に対して、トラブルを防ぐための条例制定に着手する考えは無いが、今後の市内の太陽光発電設備の設置状況や苦情やトラブルの状況、また他自治体の動向を確認しながら、条例制定について研究すると答弁しています。

議長

他に質疑はありませんか。
・・・「質疑なし」の声あり・・・

議長

他に質疑がないようなので。これより、採決に入ります。
ただ今審議しました本案は、原案のとおり承認決定することについて、賛成の方は挙手願います。

議長

挙手全員であります。
よって、本案は原案のとおり承認決定されました。

議長

以上、「審議事項」を終了し、続いて「報告協議事項」に入ります。
事務局の説明を求めます。

事務局

- 1 農地法関係諸証明事務等について
 - 農地法第3条の3第1項(権利取得の届出) 9件
 - 農地法第5条の規定による許可不要案件 1件
 - 農地転用(農業用施設)届出受理 1件
 - 取消願 2件
 - 取下願 1件
 - 非農地判断 818筆

事務局

- 2 その他
 - 今後の日程
 - 令和7年第5回定例総会 5月23日(金)15時

議長

その他、何かありませんか。
無いようなので、これもちまして総会を終了します。
ご苦労さまでした。

閉会 午後3時6分

令和7年5月23日

議長(会長)

議事録署名者

同 上